



## 性と健康を考える女性専門家の会 総会シンポジウム

### 「性の健康の視点で考えるポルノ

#### —資源としての女性・主体としての女性—

少子高齢化もますます進み、人口減少が顕在化している昨今、女性に向く視線はますます増え、政府の施策も女性を軸に行われているように見えますが、本質的なところで女性や、性そのものがどう扱われているのかが気になるところでもあります。このような中で、まず女性自身は性をどう捕えているのかを見直す必要に気づき、今回のシンポジウムを企画いたしました。昨年には、AV出演を強要された女性が裁判で勝訴するということが話題に上り、他人事ではない性の搾取に関心が高まっています。また日常的に起こっているDVや、性被害対策の根本には、社会の性に対するあり方も関係しています。男・女、被害・加害という対立軸だけで見るのではなく、「性の健康」とは何かを軸にポルノを見るとどう映るのかを、それぞれその道のスペシャリストに語っていただき、議論を深めたいと思います。

日 時：2016年6月5日（日）13時30分～16時35分

場 所：東京薬科大学千代田サテライトキャンパス（飯田橋）

<https://www.toyaku.ac.jp/access-bus/chiyoda-satellite>

参加費：会員 2000円 一般 3000円 学生 1000円

#### ▼プログラム [総合司会 武子 愛]

13:30～13:35 会長挨拶 早乙女智子

13:40～14:20 ポルノ映像において消費される女性 金尻カズナ（ポルノ被害と性暴力を考える会）

14:20～15:00 ピンク映画における主体としての女性 浜野佐知（映画監督）

15:00～15:40 ポルノ映像と性教育～メディアリテラシーとして取り上げる必要性と可能性～  
村瀬幸浩（性教育研究者）

休憩 10分

15:50～16:30 ディスカッション [コーディネーター 赤谷まりえ]

16:30～16:35 閉会挨拶

#### お問い合わせ・申し込み

「性と健康を考える女性専門家の会」事務局  
〒104-0045 東京都中央区築地2-12-10  
築地MFビル26号館5F  
TEL：03-5565-3588 FAX：03-5565-4914  
MAIL: [pwesh@ellesnet.co.jp](mailto:pwesh@ellesnet.co.jp)

主催：性と健康を考える女性専門家の会

<http://square.umin.ac.jp/pwesh/>

お申込みは FAX：03-5565-4914

または E-Mail: [pwesh@ellesnet.co.jp](mailto:pwesh@ellesnet.co.jp)

会員  一般  学生

お名前： \_\_\_\_\_ 所属： \_\_\_\_\_

お電話： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

E-Mail： \_\_\_\_\_